

国際サーカス村通信	VOL12NO8	2008年7月7日(月)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel : 0277-70-5010 Fax : 0277-97-3688 mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net		

## ● 東京公演、迫る

今期の発表会は「マールイ・サーカスの一日」として、学校体育館と東京都児童会館で行うことにしました。まだ、東京で公演するのは早いのではないかと不安もありますが、一歩前進しようとするのであれば、ここは逡巡するよりも打ってでるべきではないかと思ひ、計画を立てた次第です。

生徒のなかには、きちんとお金をとって見せるだけの技術が身についているか、そうではないのではないかと疑問を呈する者もいます。確かに、十分な技量を身につけていない者もいますが、だからといって、東京公演を企画してはならないということにはならないとも思います。なにも未熟さを、敢て見せようというのではないのですが、それも含みつつ、サーカス学校の現状で、できるかぎりのショーを作ってみてもらい、批評してもらうことこそ、今後のサーカス学校、生徒たちにとって有意義な活動といえないでしょうか。それが入場料をとる根拠になりますかと聞かれると、回答に苦しむところですが、公演して響きをかき、以降、お客から見放されてしまうかといえば、そんなことはないでしょう。誰もが暖かい目で見ってくれるとは限りません。厳しく批判されることもあるでしょう。そんな不安を抱えつつ、いま、ナージャ、アレクセイ両先生の指導のもと、みんな懸命に技を、表現を学んでいます。特に今回、演出のためにお呼びしたアレクセイ先生の指導に、ステージ上での表現の仕方、そして個人としてではなく、集団での表現を学んでいます。その成果をご覧いただけたらと思います。

## ● カンボジア国際サーカスフェスティバル“ティニ・ティノ”(ここ・あそこ)の支援

このフェスティバルが頓挫しかかっているため、それをなんとか継続してもらいたいと、協会の会員の方々をはじめ多くの方々に支援のお願いをしまいましたが、皆様の暖かいご協力で、1万ドル以上の支援金が集まりました。先日、その送金を終えました。

そして別ページにありますように、サーカス部門の責任者であるコーン・デッド氏からお礼のお手紙をいただきました。実は、去る6月14日から22日まで、ベトナム、カンボジアへ行って来たのですが、その時、支援の報告を行うとともに、来年のフェスティバルの話をしてきました。

この時、このPPSで活動しているフランス人のジャン・クリストフから、来年のフェスティバルはこれまでのものからさらにステップアップするために、フェスティバル期間の2週間前から、さまざまな国の人が参加するワークショップを行い、そこからフェスティバルで公演する作品を作りだしたいので、当沢国際サーカス学校の生徒もぜひ参加してもらいたいという提案をいただきました。この企画はまだ決定しているわけではないのですが、素晴らしい企画であるのはいうまでもありません。

問題は、当サーカス学校の生徒が、このワークショップに参加できる力があるかです。



それは、技量の問題もありますが、それ以上に、フェスティバル期間をいければ、約3週間にわたるカンボジア逗留に耐え、練習をし、ショーをつくる体力があるかどうかです。

こうしたことが、ぼくの頭に真っ先に浮かぶというのは実は悲しいことというか、こうしたことを気にしなければならないのが、現在の日本の若者のある姿だということです。もちろん、すべての若者がそうだというのではなく、ひとりで海外に飛びだし、ボランティア活動をしている若者も沢山います。ただ当サーカス学校の生徒の顔を浮かべたときに、さて誰を、この計画に送り出そうかと考えてしまうのも事実です。

### ● サークス学校発表会

今期の発表会は、サーカス村と東京で行ないます。

日時

- ・ 7月19日(土) PM4:00 於 サークス学校体育館 入場料無料。カンパ歓迎。以前は20日(日)の予定でしたが、変更になりましたのでご注意ください。(お詫びして、訂正します)
- ・ 7月21日(月・祝) PM2:00 於 東京都児童会館(渋谷区)

なお、東京児童会館の公演は有料となります。

当日2,000円 前売1,800円(大人子ども、とも)

### ● 月例会

議 題	ヴェトナム・カンボジア報告
報告者	西田敬一、大野洋子
日 時	2008年8月21日(木)
場 所	千駄ヶ谷区民館
問合せ	03-3403-0561 (ACC)

# Phare Ponleu Selpak

ធ្វើនៅបាត់ដំបង, ថ្ងៃទី១៩ ខែមិថុនា ឆ្នាំ២០០៨



## អង្គការ ហ្វារ៉េ ប៉ូនល្លេ ស៊ែលប៉ាក់

ជូនចំពោះ :

លោក Keiichi Nishida

សមាគមភូមិសៀកអន្តរជាតិ NPO

៤១-១, Zama, Azuma-cho, ទីក្រុង Midori

Gunma ៣៧៦-០៣០៣ ប្រទេសជប៉ុន

Keiichi Nishida ជាទីគោរពរាប់អាន,

2009 年のティニ・ティノ・国際サーカスフェスティバルのために、10,000 ドルもの援助を、本当にありがとうございます。ご寄附いただいた皆様に、くれぐれも私たちの感謝をお伝えください。カンボジアのティニ・ティノ・国際サーカスフェスティバルは、プロのアーティストや、サーカス学校の生徒、コミュニティ間の交流を、目的としています。毎年、サーカス学校や、その関係者を招待していますが、フェスティバルを持続し、改善していくことは、毎回大きな課題となっています。私たちは、このフェスティバルを、私たち自身で開催したいと望んでおり、さらに、私たちのコミュニティの中で、文化的なアイデンティティを強化したいと考えています。そして、こどもたちには、このフェスティバルを通じて、アートや文化を学んで欲しいと願っています。ティニ・ティノは、サーカスフェスティバルですが、美術家や音楽家も参加しています。2008 年には 8 カ国、2007 年は 9 カ国、2006 年は 6 カ国を招待しています。観客は、主にバタンバン地区の村民や学生ですが、カンボジア全土からも増えており、文化というものが、いかにダイナミックなものであること、現代的なものがいかに伝統的なものに適合するかということ、地方文化の価値などを、体験できる可能性に満ちています。皆さんの援助は、非常に貴重なものです。この援助によって、2009 年のティニ・ティノ・国際サーカスフェスティバルが、独自のアート・イベントになるであろうことを、確信しています。  
ファー・ポンプルー・セルパク  
ティニ・ティノ・アーティストティック・ディレクター コーン・デット

អង្គការហ្វារ៉េស៊ែលប៉ាក់ សូមថ្លែងអំណរគុណលោកជាតន្ត្រី ចំពោះការជួយទំនុកបម្រុងជាថវិកាចំនួន ១០.០០០ដុល្លា (ដប់ពាន់ដុល្លាសហរដ្ឋអាមេរិកគត់) សម្រាប់ដំណើរការកម្មវិធីមហោស្រពទីនេះទីនោះឆ្នាំ២០០៩ ។ យើងខ្ញុំសូមធ្វើជូនសេចក្តីថ្លែងអំណរគុណនេះចំពោះ លោក លោកស្រី នាងកញ្ញា ដែលជាមិត្តភក្តិ និងសមាជិក របស់លោកផងដែរ ។

មហោស្រពទីនេះទីនោះ គឺជាមហោស្រពសៀកអន្តរជាតិនៃព្រះរាជាណាចក្រកម្ពុជា ដែលធ្វើការសម្របសម្រួល នូវការចែករំលែកបទពិសោធន៍ រវាងសិល្បករអាជីព, សិស្សានុសិស្សសៀក និង សហគមន៍ ។ ជារៀងរាល់ឆ្នាំ យើងខ្ញុំតែងតែអញ្ជើញសាលាសៀក និងស្ថាប័ន ផ្សេងៗ ដើម្បីចូលរួម ក្នុងមហោស្រព ។ ដែលនេះគឺជាការឆ្លើយតបមួយរបស់ពួកយើង ក្នុងការថែរក្សា និងធ្វើអោយមហោស្រពមានការរីកចម្រើន ។

យើងខ្ញុំមានបំណងចង់អោយមហោស្រពនេះ ក្លាយជាមហោស្រពឯករាជ្យមួយ ។ យើងខ្ញុំចង់អោយមហោស្រព នេះក្លាយជាមធ្យោបាយមួយ ក្នុងការពង្រឹងអត្តសញ្ញាណវប្បធម៌របស់សហគមន៍យើងខ្ញុំ ។ យើងខ្ញុំក៏ចង់អោយមហោស្រពនេះក្លាយជាមធ្យោបាយមួយ ក្នុងការអប់រំអំពីសិល្បៈ និងវប្បធម៌ផងដែរ ។

មហោស្រពទីនេះទីនោះ គឺជាមហោស្រពសៀក, ប៉ុន្តែវាក៏មានការចូលរួមពីវិទ្យុត្រករ-ការិនី និងតន្ត្រីករផងដែរ ។ យើងខ្ញុំបានស្វាគមន៍ ប្រទេសចំនួន៨ ក្នុងឆ្នាំ២០០៨, ៩ប្រទេស ក្នុងឆ្នាំ២០០៧, និង៦ប្រទេស ក្នុងឆ្នាំ២០០៦ ។ ទស្សនិកជន, អ្នកភូមិ, និងសិស្សានុសិស្ស នៅខេត្តបាត់ដំបង, ក៏ដូចគ្នានឹងមហាជនគ្រប់ស្រទាប់ ដែលអញ្ជើញមកពីតំបន់នានានៃប្រទេសកម្ពុជា អាចមានលទ្ធភាពយល់ឃើញថា តើវប្បធម៌អាចមានភាពស្នាហាប់ និងថាមពលប៉ុណ្ណា, តើសិល្បៈដែលឈានជិតដល់បែបទំនើប សមស្របជាមួយនិងសិល្បៈបុរាណ និងតម្លៃនៅតាមតំបន់នីមួយៗប៉ុណ្ណា...

ការឧបត្ថម្ភគាំទ្ររបស់លោក, គឺធំធេង និងមានតម្លៃណាស់សម្រាប់យើងខ្ញុំ ។ វាធ្វើអោយយើងខ្ញុំមានការ ស្រមៃស្រមៃថា មហោស្រពទីនេះទីនោះ ឆ្នាំ២០០៩ ក្លាយជាមហោស្រពសិល្បៈឯករាជ្យមួយ ។

ជ. ហ្វារ៉េស៊ែលប៉ាក់  
ហួន ជេត  
នាយកគ្រប់គ្រងផ្នែកសិល្បៈ មហោស្រពទីនេះទីនោះ



## 各サーカス団コース

### ★ 木下サーカス

○千葉公演 2008年6月7日(土)～8月27日(水)

休演日 毎週木曜日と6月11日(水)、7月9日(水)、8月6日(水)、ただし8月14日(木)は開演

会場：千葉みなと駅東300m 特設会場 千葉市中央区千葉港116番1 電話：043-203-0117

○大阪花博公演 2008年9月7日(日)～11月30日(日)

休演日 毎週木曜日と9月10日(水)、10月8日(水)、11月12日(水)

会場：花博記念公園 特設会場 大阪市鶴見区緑地公園1(地下鉄長堀鶴見緑地線 鶴見緑地駅前)

電話：06-6372-0015(9月3日まで) / 06-6915-0027(9月3日から)

### ★ キグレ New サーカス

○秋田公演 2008年7月19日(土)～9月15日(月) 休演日：毎週火曜日

会場：秋田市新屋町割 旧秋田空港跡地特設会場 電話：018-853-4678

○郡山公演 2008年10月11日(土)～11月30日(日)

休演日：毎週月曜日(但し月曜日が祝祭日の場合は、その翌日の火曜日)

会場：郡山カルチャーパーク駐車場特設会場 福島県郡山市安積町成田東丸山61番地

### ★ ポップサーカス

○富山公演 2008年7月19日(土)～8月31日(日)

休演日：7月22日(火)、7月29日(火)、8月5日(火)、8月11日(月)、8月19日(火)、8月26日(火) 会場：太閤山ランド東隣特設大テント会場

電話：0766-50-1584(7月13日まで) / 0766-57-3301(7月14日から)

○防府公演 2008年9月13日(土)～2008年10月19日(日) 休演日：毎週木曜日

会場：山口県防府天満宮北側特設大テント会場(防府市国分寺町・旧野球場)

電話：0835-26-3055

★ 汎マイム工房「ピエロ・マイム・ファンタジー」 2008年7月25日(金) 東京都児童会館

問合せ 汎マイム工房：03-3993-9418

★ 大道芸が舞台にやってきた! 「トランク vol.2」 2008年7月26日(土) 江東区文化センター

問合せ トランク制作委員会：03-5245-0036 <http://2trunk.cart.fc2.com/>

★ プレジャーBの「コメディ・クラウン・サーカス」2008年8月9日(土) 東京都児童会館

問合せ クラウンファミリープレジャーB 052-483-7779

### ★ ボリショイサーカス 2008年全国公演スケジュール

7月19日(土)～27日(日) 東京・東京体育館	7月19日(土)～21日(祝) 長野・ビックハット
7月30日(水)～8月10日(日) 横浜・横浜文化体育館	7月25日(金)～28日(月) 静岡・ツインメッセ静岡
8月13日(水)～18日(月) 千葉・幕張メッセ	7月31日(木)～8月3日(日) 仙台・夢メッセみやぎ
8月21日(木)～25日(月) 名古屋・愛知県体育館	8月6日(水)～11日(月) 大阪・大阪府立体育会館
8月28日(木)～31日(月) 埼玉・越谷市立総合体育館	8月14日(木)～17日(日) 鹿児島・鹿児島アリーナ
9月4日(木)～7日(日) 茨城・ひたちなか市総合体育館	8月20日(水)～25日(月) 福岡・福岡国際センター
9月12日(金)～15日(祝) 常総・水海道総合体育館	8月28日(木)～31日(日) 広島・広島サンプラザホール
9月20日(土)～23日(祝) 新潟市産業振興センター	9月4日(木)～7日(日) 尾道・広島県立びんご運動公園
	9月12日(金)～15日(祝) 栃木・宇都宮市体育館
	9月20日(土)～23日(祝) 前橋・ぐんまアリーナ

詳細はボリショイサーカス公演本部 電話：03-3234-7807

## 【月例会報告】2008年6月27日(金)パントマイムウィーク3“銀座Ave.”について

劇場でのパントマイム公演『パントマイムウィーク3“銀座 Ave.”』を主催した、パントマイム伝道師を自称し、パントマイムの認知度をあげるべく、エネルギーに活動をしている、細川紘未さんと、実行委員会のメンバーとして参加した、パントマイム・パフォーマー、チカパンさんに、月例会にお越しいただきました。

お二人のプロフィールを、ご紹介します。(HPから抜粋)

(細川紘未)

TOKYO マイムシティ・TOKYO マイムカレッジ主宰、

平成 13 年度文化庁在外研修員、パントマイムウィーク実行委員長。

略歴 4月1日生まれ。静岡県出身。俳優養成所を経て、東京マイム研究所入所。パントマイムを並木孝雄氏(1946~1992))に師事。研究所卒業後、並木孝雄氏主催、マイムトルーフ気球座に所属し、数多くのソロ公演及びアンサンブルの公演を全国で展開。イベント、コンサート、CM、TV に出演。

1994年 バラエティライブ「マジカル フラッパー」結成。メンバーとして活躍。

2001年 平成13年度文化庁在外研修員として、渡米。NY・アメリカンマイムシアターにて、ポール・J・カーチス氏に師事。

2003年 帰国、パントマイムを広めるべく、様々なスタイルのワークショップを開始。

2004年 TOKYO マイムシティ・TOKYO マイムカレッジ設立。後進の育成、ソロ公演、並木孝雄理論の展開、作品の継承を開始。

2007年3月「パントマイムウィーク『NO MIMEM, NO LIFE.』」企画・主催。

3月 YOUTUBE にてパントマイムレッスン動画配信開始。

10月「パントマイムウィーク『7gifts』」実行委員長を務める。

11月 天のお告げ(?)により、いきなり、「シスターひろみ」誕生。

2008年1月 毎月第3金曜・定期公演「さくっとパントマイム」開始。

5月28日~6月16日「パントマイムウィーク3『銀座Ave.』」

特技 クラシックバレエ、アルゼンチンタンゴ、サルサダンス・社交ダンス、タップダンス・ボクシング・パワーヨガ・英語・パントマイム

(チカパン)

1987年 桐朋学園演劇専攻科卒業。東京マイム研究所にて故・並木孝雄に師事。

1991年 ソロライブを開始。山本光洋氏に会い、作品を多数演出していただく。

1993年 CX ポンキキーズレギュラー出演。

1994年 遊 機械ノ全自動シアター「僕の時間の深呼吸」に出演。

1997年 春川国際マイムフェスティバル出演

1999年 ソロライブ BEST 上演(中野テルプシコール)

2000年 オブジェクトシアター・プロジェクト2000参加

2002年 ヘブナーアーティスト免許取得、第2回東京国際フル祭出演、ハンガリー、チェコ、上海公演(EW シアタートライアングル)、飯田人形劇フェスティバル出演。

2003年 第45回テンヨーマジックフェスティバル出演。

2004年 第2回日テレ ART DAIDOGEI グランプリ・優秀アーティスト賞受賞、ウニマ国際人形劇フェスティバル in リエカ出演。

2005年 第2回芸王グランプリ東京大会3位入賞、第3回日テレ ART DAIDOUGEI グランプリスペシャルアー

テイスト賞受賞、こどもの城20周年記念シンポジウム出演。

2006年 シアタートライアングルスペインツアー、NHK「すくすく子育て」スクスクスクール in 函館出演、北九州パントマイムフェスティバル出演。

\*今年4月中旬に、長く患っていた右膝の手術を行い、今年いっぱい、パントマイムの仕事を休業。

『パントマイムウィーク』を始めたいきさつは？(西田)

パントマイムを、大道芸のひとつとしてやる人は増えていますが、劇場公演となると、経費がかかりすぎて、なかなか個人ではできません。観客にとっても、観る機会が少ないということになり、機会が少ないと、なかなか観客を増やせない。観客を増やせない、パントマイムを好きになってくれる人が増えない、好きになってくれる人が増えないと、パントマイムの認知度があがらない、という悪循環がなかなか断ち切れません。パントマイムを知らない、ということは、やってみたい、という人も増えないということになります。これを打破するために、何かできないかと考え、一番経費的に重い劇場費や人件費を、複数人で劇場を借りてやることで、何とか賄えるんじゃないかと考えました。2組ずつにしたのは、それぞれのお客様が来てくれることで、相乗効果が期待できると思ったからです。去年の3月に開催した1回目を終えたときに、もっとたくさんの人に出演してもらい、2週間ぐらいは、やりたいと思いました。経済的な赤字は、自分がかぶってもという覚悟をしてから、突き進み、長期開催に取り組みました。2回目はトントンで、3回目の今回は、赤字にはなりません。Tシャツ販売等も、よかったのではないかと思います。

「さくっとパントマイム」というのも、毎月第三金曜に、荻窪で開催しています。これは、パントマイムを知らない人たちの足を、劇場に運ばせるためには、どうしたらいいんだろうと考えたときに、2500円を払うのは難しくても、1000円で、さくっと観れる機会があったら、いいのではないかと考えました。レクチャーをいれて、3組ぐらいの出演者で、1000円で、さくっと観れたらいいのではないかと。(細川)

何がきっかけで、パントマイムの世界に？(西田)

高校時代から演劇をやっていて、自由劇場に1年ほどいました。その後で、何かしようと、友達と、パントマイムの研究所に入り、習い始めたのが、きっかけです。あくまでも、演劇のため、のはずだったのですが。(細川)

私も演劇をやっていて、その肥やしにするために、パントマイムの研究所をいくつかまわり、最終的に、東京マイム研究所で、習い始めたのが、きっかけです。(チカパン)

お二人にとって、パントマイムとは？(西田)

並木先生のスタイルは、とても芝居的で、劇場でやるパントマイムです。私には、そういう、“劇場的なパントマイム”が、あっていました。この“劇場的なパントマイム”が成立するということをもっと知ってもらいたいし、その良さを伝えたいと思っています。パントマイムは、私にとって、最適な自己表現です。(細川)

私にとって、パントマイムは、生業であり、職業...かな。(チカパン)

パントマイムは無対象(無いものを、あるように見せること)で動くわけですが、よくある「壁」のパントマイムにしても、みんな中に(壁の)閉じこもってしまいますよね。つまり、みんな同じように概念化してしまっていると思います。壁ひとつにしても、いろいろな可能性があるんじゃないかと思うんです。ルーティンじゃなくて、自分のオリジナルとして、組み立てて欲しいなと思います。それは、サーカスでも一緒なんですね。サーカスは技術に限界がある。その限界を感じたときに、何を取り入れようかと、どうやって見せようかと、考えるわけです。(西田)

スタッフが、とてもテキパキしていて、素晴らしかったですね。(大須賀)

それはもう、細川さんの人柄です。細川さんの生徒さんは、仕事を持っていて、プロになるつもりはなくても、パントマイムが大好き！というアマチュアの人がいるので、そういうアマチュアの皆さんに支えられたフェスティバルとも、言えると思います。(チカパン)

この頃は、テレビでも、パントマイムのパフォーマーが紹介されることもあり、パントマイムがとても元気のように感じます。そういう流れの中でも、細川さんの、「パントマイムの良さを伝えていこう！」という、様々な試みは、非常に貴重なものであり、きっとそれは、少しずつでも、種をまいて、実りつつあるように思います。今後のご活躍を、心から応援したいと思います。チカパンさんは、今年は休業ということですが、パントマイムウィークの制作をしたり、休業を十分に楽しみながら、再開に向かってるように思いました。

最後に、お二人の師匠である、故・並木孝雄氏の、1978年の「マイムマイン」公演時のパンフレットからという、印象的な文章を、細川さんのサイトで見つけたので、ここに抜粋させていただきます。

パントマイムは、無言で、無対象で動く、そのことによって一つの世界を作り出そうとする。

無言であるだけならば、ダンスもそうだし、無対象というだけならば、演劇にそういう作品がある。  
パントマイムは、無言で無対象で動かなければならない。

パントマイムがもしリリックでファンタジックであるならば、それは、無言で無対象で語られる話がリリックでファンタジックであるのではなく、無言で無対象で動く、そのこと自体が、リリックでファンタジックでなければならぬし、パントマイムが、もし滑稽であるのなら、それは、話の転回、変化が滑稽なのではなく、無言で無対象で動く、そのこと自体が滑稽でなければならぬ。そしてもし、パントマイムが見る人の感動をさそうとすれば、それは、話の内容が感動的なものではなく、無言で無対象で動くことによって、作り上げた空間そのものが、人々を感動させなければならぬ。

パントマイムはただ一人でできる。それが大きな魅力であると思ってきた。しかし冷静に考えてみれば、演劇だって一人で出来るし、ダンスだってもちろんそうだ。なぜことさら、それをパントマイムの魅力と思ったのか。今になってみれば、一人で稽古場にこもり、客観という目にふれず、自己の中で、じくじくとした情念を培養し、それを放出するのに、無言という状態が適していたからだと思う。

それならダンスという方法も良いはずだが、それはめぐりあわせの妙というやつで、僕はパントマイムに出会った。

並木孝雄(1978年7月19日、「マイムマイン」公演パンフレットより(抄))

出席者:細川紘未、チカパン、西田敬一、井上浩一、大須賀哉子、大野洋子(敬称略 大野洋子記)

TOKYO マイムシティのサイト

<http://www.hosokawahiromi.net/>

チカパンのサイト

<http://chicapan.cocot.jp/>

”パントマイム伝道師”シスターひろみ(細川絃未)のレクチャーが、Youtube で見ることができます。

シスターひろみのミニレクチャー「ロープ」2/1

<http://jp.youtube.com/watch?v=4vfHYB2Zdvl>

シスターひろみのミニレクチャー「ロープ」2/2

<http://jp.youtube.com/watch?v=bpxGpOIYjpk>

『さくっとパントマイム 2008』(毎月第3金曜日開催)

第7回 7月18日(金) **完売!**

出演 : JIDAI・加納真実・細川絃未

ミニレクチャー:「牢屋」 講師:JIDAI

第8回 8月22日(金) ご予約受け付け中

出演 : 島 留美・ロウミン・細見玲子

ミニレクチャー:「塀登り」 講師:シスターひろみ

第9回 9月19日(金) 7月1日受付開始

出演 : Shiva・パロン・たかくわみえ

ミニレクチャー:「階段」 講師:シスターひろみ

第10回 10月17日(金)

出演 : 新堂雅之・ズッカーマン明子、他。

第11回 11月21日(金)

出演 : 本多愛也・ななな、さとう靖雄。

第12回特別版

12月18日(木)

出演 : サンキュー手塚・島留美、他。

12月19日(金)

出演:山本光洋・細川絃未、他。

出演者、レクチャー内容は予告なく変更することもあります。予めご了承下さい。

